学校番号	２１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選「古典探究」（第一学習社）						
副教材等	・入試対策ベストコレクション古文単語 325（尚文出版株式会社） ・新精選古典文法（東京書籍） ・新精選古典文法準拠ノート（東京書籍） ・常用国語便覧(浜島書店)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音読を通じて日本と中国の古典文学に親しみましょう。
・さまざまなジャンルの作品に親しむとともに、正しく内容や、登場人物の心情等を理解するために語彙力や古典文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・作品に描かれた人物の行動や心理、考えを読解し、人の生き方を考えてみましょう。
・文学史や昔の人の生活を学び、時代のあり方と生活のつながりについて考えましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・作者と兼家との間にどのようなことが起こったのか、時間を追って整理する。 ・「嘆きつつ……」の歌を「例よりはひきつくろひて書きて、うつろひたる菊にさし」て贈った作者の気持ちについて話し合う。 ［教材］ 『蜻蛉日記』 ～うつろひたる菊～	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク	授業態度 学習課題の提出 小テスト
	・歌物語の特色に注意しながら，作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を読み取る。 ［教材］ 伊勢物語 ～狩りの使ひ～	a：・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：積極的に歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し，今までの学習を生かして人物の心情を理解し，姨捨伝説についての自らの考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク	授業態度 学習課題の提出 小テスト
二学期	他の作品や絵画との関係も踏まえながら，作り物語の内容を的確に読み取る。 ［教材］源氏物語 ～夕顔の死～	a：・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し，今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク	授業態度 学習課題の提出 小テスト
			定期考査	定期考査	授業態度

	［教材］大鏡 ～弓争ひ～	a:・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:・必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c:・積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ，今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。	小テスト	ワーク	学習課題の提出 小テスト
	・作品の背景も踏まえながら，近世文学の内容を読み取る。 ［教材］ 風姿花伝	a:・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]:・文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c:進んで近世小説のリズムや表現を味わい，学習課題に沿って近世小説に描かれた人々の生活や人物像を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク	授業態度 学習課題の提出 小テスト
三学期	・俳論の内容を的確に読み取り，論旨を捉える。 ［教材］ 去来抄	a:・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]:・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 b[書]:文章の構成や展開，表現の仕方などについて，自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:積極的に俳論の内容を読み取り，今までの学習を生かして論旨を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク	授業態度 学習課題の提出 小テスト

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　１０）時間

・書くこと　　…　（　　１０）時間

・読むこと　　…　（　　５０）時間